

11月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 平成26年11月20日（木）10時～11時15分
- 2 開催場所 武雄市役所 3階会議室
- 3 出席者名 教育委員：諸石委員長、古場委員長職務代理者、前田委員、河内委員、
浦郷教育長
事務局：溝上教育部長、諸岡こども部長、大宅教育総務課長、
徳永学校教育課長、牟田未来課長、古賀スマイル学習課長、
杉原図書館・歴史資料館長、山頭学校教育課参事、
樋渡教育総務課総務係長
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 議事録署名人の指名 【河内委員を指名】
- 7 前回会議録の承認 平成26年10月定例教育委員会会議録 【原案どおり承認】
- 8 教育長の報告 前回以降の報告
 - 1 児童・生徒の活動について
 - 2 校舎等の改修について
 - 3 官民一体型学校について
 - 4 ICT教育の推進について
 - 5 社会教育について
 - 6 その他
- 9 議 事
 - (1) 提出議案
議案第25号 武雄市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱に関する規則の一部を
改正する規則について

【原案どおり議決】
 - (2) 協議事項 教育に関する報告について
- 10 各課等からの報告
- 11 次回開催日程について
【平成26年12月24日（水）14時00分～ 市役所4階会議室】
- 12 その他
- 13 閉会
- 14 会議録

午前10時 開会

○委員長

おはようございます。何か穏やかに秋が深まっていっているような感じがいたします。

では、ただいまから11月の定例教育委員会を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。

では、議事録署名人ですが、今度は河内委員さんでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

次、前回の会議録の承認でございます。まず最初、10月21日の定例教育委員会の分でございますが、何かございますか。よろしいでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。

そしたら、次に11月6日の臨時教育委員会の会議録ですが、どうでしょうか。よろしいでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。

では、承認をいただきました。

では次に、教育長の報告です。教育長お願いいたします。

○教育長

ずっと休みなく出てもらっているようで申しわけないです。教育委員さん方の多忙化解消を考えないといけないと思っています。

今、非常に慌ただしい状況になっておりますが、教育行政につきましては、粛々とやっていきたいと思っております。

児童・生徒の活動についてであります。学校訪問等でごらんいただきますように、極めて落ち着いた形で学習ができております。土曜学習会とか英語スペシャルなども確実に進められております。

ご心配いただいていた山内西小学校と武雄中学校の件がございましたけれども、少しずつ前向きな方向で報告がなされておまして、今のところ、私どもが出向いて対応するという状況ではないように思っております。

それから、校舎等の改修等も、武雄中、山内中、武雄小など、見ていただきましたように、進んでおります。

官民一体型学校ということで、11月7日に実施校2校、準備校3校を発表したわけでありまして、両校の協議会の代表者の皆様との協議も行いました。協力する中で進めてもらいたいというふうに思っております。

後で報告があると思いますが、次の段階として、さいたま市でも説明会を開催しまして、今度は福岡、それから、1月にはこちらに来てもらっての巡回ツアーということで進めてもらいたいと思っております。

皆様方も思われたかわかりませんが、新聞もお配りしていると思いますが、課長以下頑張ってくれまして、20名ということを見ましたときは、ちょっとびっくりしたような状

況でありまして、今後ともしっかりと進めていきたいと改めて思ったところがございます。

4点目としまして、ICT教育の推進でございますが、山内西小でのプログラミング教育も順調に進んでおりまして、きょう、県内の教育長集まっての協議会もあるんですけれども、全県的にもいろんな形で推進がなされております。

そのうちの1つで、総務省・文科省の「先導的ICT事業推進事業」ということでお話ししておりましたけれども、二、三日前の県の補正予算でも計上されているようでありまして、12月5日からの本格的な推進になろうかと思っております。

5点目、社会教育面でありますけれども、県体が10月25日、26日、杵藤地区会場ということで開催されました。最終的には、武雄市は躍進賞ということで、皆さん頑張ってくださいました。もちろん、事務局等もしっかり頑張ってくださいまして、もう一回最後に実行委員会、反省会ありますけれども、今のところ、特別問題があったということは聞いておりません。大変よかったと思っております。

それから、先日の第4回になります伝統芸能祭も大盛況でありまして、3地区練習を積まれて、天候にも恵まれ、非常に好評でありました。

また、流鏝馬等もあったわけでありまして、いろんな場で、中学生など若い世代が引き継いでいくという状況が見られておりまして、大変意義深いことだと思っております。

また、市の文化祭、各町の公民館祭りや文化祭など盛大に開催されておりまして、市民、町民の皆さんが文化に親しみ参加していく生涯学習の充実ということを感じたところがございます。

そのほかに、チラシをお配りしているかわかりませんが、明日21日より全国体育学習研究協議会が開催されまして、市内からも、チラシにありますように、小学校5校で実際に提案授業等がなされる予定でございます。若手の先生方が準備重ねてもらっておりまして、内容の濃い研究会になろうかと思っております。

先日、若木小で「成長期のからだと食事について」タニタから見えていただいて講演会が開かれました。タブレットで自分の食を振り返る、あるいは運動と絡めて振り返るという初めての試みでありまして、非常に意義深い内容になっているということを感じたところであります。

食に関しては、新米とか若楠ポークなどの寄贈があっておりまして、その点でもありがたく思っております。

詳しくはお話できる状況じゃありませんけれども、昨年度、消費税が上がりました、給食費をどうするかということで考えたわけですが、どうにか対応できるだろうということでしてきたわけです。消費税、次に上がるのは先延ばしになったにしても、いずれにしても、給食費を若干値上げしないと成り立たないような状況もありますので、今、検討をしているところでございます。次回か次の次かに詳しく提案させていただきたいと思っております。

まだまだ学校訪問等、いろいろご参加いただくこともたくさんありますけれども、どうかよろしくお願いいたします。

○委員長

ありがとうございました。

ただいまの教育長の報告に何かご質問ございませんか〔「なし」と声あり〕。

ありがとうございました。

では次、議事に移りたいと思います。

まず、第25号議案について提案をお願いいたします。教育総務課長どうぞ。

○教育総務課長

2ページ～3ページ、第25号議案 武雄市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱に関する規則の一部を改正する規則について、議案書により説明。

○学校教育課参事

3ページ、第25号議案 武雄市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱に関する規則の一部を改正する規則について、議案書により補足説明。

○委員長

ただいまの第25号議案の説明ですけど、改正ということでの提案であります。まず質問で何かございませんか。C委員さん、どうぞ。

○C委員

眼科医のところがよくわからなかったもので、もう一回ご説明をお願いしてよろしゅうございますか。

○委員長

学校教育課参事さん、どうぞ。

○学校教育課参事

今400人を超える学校につきましては、現行で学校医と歯科医、薬剤師のほかに学校眼科医を1名設置をすることになっております。学校眼科医の業務内容といたしましては、学校の健康診断のとき眼科医さんに出てきていただいております。学校によっては校医として出てきていただいたり、契約医として健診を行っていただいたりしております。健診としては同じなんですけど、片方は報酬で払う、片方は単価契約で払うというところがありましたので、そこら辺を統一したいと考えております。

○B委員

学校医2名となっている先生は、内科医というふうに捉えてよろしいんですか。

○学校教育課参事

はい。

○委員長

A委員さん、どうぞ。

○A委員

先ほどのような説明では、学校眼科医の方は、新入学児童の健康診断のときに委託してお願いして、あとの学校医とか学校歯科医、薬剤師さんのほうは報酬で払うということですね。

○学校教育課参事

400人以上の規模の学校は報酬という支払い方です。だから、報酬の方と単価契約で1人270円の支払い方があったということです。

ちなみに、報酬が年額21万700円です。単価契約は児童・生徒1人当たり270円でお支払いをしております。

○委員長

教育長、どうぞ。

○教育長

言い方がおかしかったら訂正してください。

普通、三師会というときは、校医さんと歯科校医さんと薬剤師さんです。ですから、武雄市の場合は、それに人数によって学校眼科医というのを位置づけてあったと。そこを単価契約のほうに移したということです。それがよそのまちな場合もそういう形が多いということでしょう。今ので間違いないですかね。

○学校教育課参事

はい。

○委員長

体の健康について、健診が全てであったら、もうそっちのほうでいいかなと思います。

では、よろしいでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。

そしたら、異議なしと認めて、可決いたしました。今後、よろしく願いいたします。

議案はこれ1つでございましたので、次、協議事項でございます。

平成26年12月議会提出「教育に関する報告」について、教育総務課長、どうぞ。

○教育総務課長

4ページ～5ページ、協議事項1 平成26年12月議会提出「教育に関する報告」について、議案書により説明。

○委員長

ただいま議会提出の「教育に関する報告」について提案をいただきました。何かご意見等ございましたらどうぞ。A委員さん、どうぞ。

○A委員

済みません、細かい点で申しわけございませんが、4ページの真ん中ら辺で、学校訪問につきましては「11月ですべての小中学校」となっておりますが、御船が丘小学校は1月じゃ

なかったですかね。これを見まして、どうしたらいいかなってちょっと思っただけですが。ほとんどの小学校ということですかね。

○委員長

徳永課長、どうぞ。

○学校教育課長

そうです、確かに1月に公開授業を行いますので、それを学校訪問に充てておりますから、1月30日の宣伝を含めて、公開授業を残すのみになりましたぐらいの形に、教育長と、それから、総務課と協議して文言を入れたほうがいいですよ。

○委員長

教育長、どうぞ。

○教育長

さっき言ってもらったように、「ほとんどの」というふうに変えて。

○学校教育課長

では、「すべての」を「ほとんどの」に。

○委員長

そしたら、「すべての」というのを、「ほとんどの小中学校の訪問を終え」ということで。ほかにどうぞ。何かありませんでしょうか。

私からちょっと提案をしたいと思いますが、これだけ武雄市の教育に注目が集まっておりますが、市議会のほうにも行政視察、それから、図書館等の視察という数は報告されるんですか。どのくらいありましたというようなことは。

例えば、各課の報告の中に、図書館視察とかスマイル学習課の行政視察とかいうのがありますが、その数は議会のほうには言われないんでしょう。

○教育部長

こちらのほうから言うというよりは、まず行政視察を受けるに当たって、うちのほうは窓口が2本なんです。議員さん関係は全て議会を通してしますので、議会に来た数は全て議会のほうが把握されています。それで、議員さん以外の市役所とかそれ以外の団体からは、フェイスブックシティ課で数自体は把握されていますので、定期的にやっているというか、必要に応じてうちの分はまとめて必要な会議等では話しますけれども、だから、きちっとした形で議員さんに報告ということは今のところ行っておりません。

○委員長

特にスマイル学習と図書館・歴史資料館については注目があるので、これは議会提出でもあるし、市民への報告でもあると思うときに、ときには何月から何月までにスマイル学習課にはどのくらいの行政視察がありましたと、その数的なものを、それから、図書館・歴史資料館のほうには文化・学習課を通してと図書館に直接の視察がこれだけまだ続いているから、

多くの視察を受けておりますといった、やっぱり皆さん方のいろいろなご努力をここにも出したがよくないかなと、ちょっとこれを読みながら思いました。そして、各課の報告を見ながら、まだこれだけの視察が続いているというときに、やっぱりそういうものをお知らせして皆さん方のご努力を市民の方にも理解していただき、また、武雄市の教育についても理解をいただくというのはどうかなと思いましたが、ほかの委員さん方、いかがでしょうか。C委員さん、どうぞ。

○C委員

私が体験した中では、議会に提案する提出のおおむねの概要で出すんですよね。あとは、細やかなところまで全部は出さんわけですね。そして、議員さん方が議会質問の中でというような切り口も与えておかなきゃいかんわけですし、そういった点では、私、おおむねという感じではこれでよなかろうかなと思っておったところでしたけど。

○委員長

それはもう十分、学校教育について申し上げます、それから、生涯学習に申し上げますって、大体均等に報告してあったんですが、何か部長、課長さん、また、それぞれの部署の係の方々の努力を何か簡単に触れられないかなとちょっと思ったものですから。

ほかの委員さん方はどうでしょうか。A委員さん、どうでしょうか。

○A委員

そうですね、毎回はどうでしょうね。

○委員長

毎回でなくてもいいでしょうけど、どこかでは何かそういうふうなご努力の様子をお知らせしてもなと思ったり、注目の度をお知らせしたらなと思ったりしましたものですから。

○教育部長

基本的には教育長の判断で入れてもらっていいと思いますけれども、毎回というより年度末ぐらいで3月ぐらいで今年度はこれだけありましたというのを、確かに一番注目されるのが図書館とスマイル関係、ICT関係が武雄市全体の中でも多かけんですね。それはやっぱりある程度アピールもせんといかんからですね、あとは年に1回ぐらいは教育長さんの判断で、数などをアピールするのも一つかなと思いますので、その程度でいかがでしょうか。

○委員長

はい、それで結構です。本当、注目の度合いと、皆様方のこれに対する努力と頑張っている様子をお知らせするというので、それは年度末でも結構です。ぜひそういうことをお知らせいただければなと思います。

じゃ、部長のほうからご提案がありましたから、それでよろしいでしょうか。

○B委員

それでよろしいと思います。

○委員長

では、ありがとうございました。

ほかに何かございませんでしょうか〔「なし」と声あり〕。

では、原案のとおりに可決いたしました。

では、各課からの報告でございます。

まず、教育総務課お願いいたします。

○教育総務課長

8ページ、1行事報告、2行事予定について、平成26年11月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

ありがとうございました。

では、学校教育課長お願いします。

○学校教育課長

9ページ～10ページ、1行事報告、2行事予定、3寄附採納について、平成26年11月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

ありがとうございました。

では、スマイル学習課長、どうぞお願いします。

○スマイル学習課長

11ページ、1行事報告、2行事予定について、平成26年11月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

ありがとうございました。

では、文化・学習課、ずっと関係のあるところまで、どうぞお願いいたします。

○教育部理事

12ページ～16ページ、1行事報告、2行事予定、図書館視察等対応について、平成26年11月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

ありがとうございました。

では、図書館・歴史資料館長お願いします。

○図書館・歴史資料館長

17ページ～18ページ、1行事報告、2行事予定、図書館視察対応について、平成26年11月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

ありがとうございました。

では、未来課長お願いいたします。

○未来課長

19ページ～20ページ、1行事報告、2行事予定について、平成26年11月 定例教育委員会報告事項により説明。

○委員長

ありがとうございました。

ただいまの各課からの報告、何かご質問ございませんか〔「なし」と声あり〕。

市民はもちろん、市外の方々へも、このようにいろんな部署でいろいろな企画、運営をしていただいで、元気を与えていただいているようでございます。本当にお疲れさまでございます。ありがとうございます。

では、次回開催日でございますが、次回12月の委員会は12月24日14時から、4階会議室で予定しておりますが、いかがでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。

では、どうぞよろしくお願いいたします。

では、その他に移ります。その他で何かございますか。

○A委員

官民一体型の学校づくりについて、2点ほどお尋ねですが、官民一体型の学校づくりについては、地域への説明会から発表まで大変お疲れさまでございました。

まず1点目ですが、平成27年度は東川登小学校と武内小学校ということで、実施校が発表されております。武内小学校は26年度、モデル校として1年間実施してこられたわけでありますが、東川登小学校は4月からの本格実施に向けて、これから体制づくりとかいろいろ準備が大変と思いますが、どのようなスケジュールで東川登小学校は準備をされていくかということが1点です。

それから、もう1点は、27年度が2校、28年度は準備校として3校、あとプラス何校か出てくると思いますが、花まる学習会からの講師の先生は、27年度はお二人ということのようでございます。28年度になったら、実施校のところは2人と準備校のところは3人、最低でも5人は必要となってくるわけですが、花まる学習会も、自分のところのスタッフを5人以上というのは、なかなかやっぱり大変じゃないかと思えます。

それで、1人の先生が2校とか例えば3校とか掛け持ちして当然、ご指導されると思いますが、やっぱりそのためにも、28年度の実施校の先生方は、準備として27年度実施校の武内小学校とか東川登小学校に事前にいろいろなやり方等についての準備のための研修をしていくほうが、自分たちの28年度の実施になった場合にはスムーズに行くんじゃないかと思っておりますが、そこら辺の来年度からの準備校の先生方の体制づくりといいますか、そういうような研修というか、そこら辺のことについては、どのようなお考えなんでしょうか。

○スマイル学習課長

まず1点目でございます。

東川登小学校、来年度4月からの実施校のもう1つの学校のほうでございますが、既に2校につきましては、教育委員会、私どもとも既に今後のスケジュール等について話し合いをしております。昨日ですが、学校の校内研修の中に、武内小学校の校長先生または教務主任の先生方に入っただいて、もう既に1回目の共同での話し合いというか、準備をしていただいております。

今後、特に武内小学校は、モデル校である程度の知識等ございまして、そのあたり2校が連携、協議をしていただきますし、来年の1月31日に、また青空教室を武内小学校で予定しておりますが、高山代表等も来られますので、年が明ければ花まる学習会からもそのような先生方を随時呼びして、とにかく4月のスタートができる形での準備はやっていきたいと。特に武内と東川登での連携を密にとっていただくということは、既に確認をとっていただいております。

2番目の来年度準備校という部分の取り扱いでございますが、まず、実施校の今回2校につきまして、花まる学習会から2名の方に常駐いただいております。再来年度については、実施校、要は1名学校に入っただく期間は1年間というふうに考えております。再来年度5校になった場合に、5人の方をとという形ではなく、まず、少なくとも2校について、この1年間である程度の形をつくっていただきたいと。

また、今、準備校である3校につきましては、これにプラスアルファが出るかどうかは別といたしまして、今回、進めている中で、当然、公開授業をやっていただいたり、準備校につきましては、随時また再来年度の実施に向けて、花まる学習会の方々もこちらのほうに随時常駐いただいておりますので、研修等を進めていきたいというふうに考えておるところでございます。

ある程度校数がふえてくれば、横のつながりができてきますので、実施校がふえるイコール花まる学習会の講師がふえるというふうな考えではなくて、そこは、できたところからどんどん広げていく形をとというふうには考えているところでございます。

○委員長

A委員、どうぞ。

○A委員

そしたら、東川登小学校とか武内小学校も実施校としては、最低1年間は花まるから来られて、その後は、そのお二人はまたほかのところに行くとか、そんな感じになるわけですね。

○委員長

スマイル学習課長、どうぞ。

○スマイル学習課長

細かい動きについては、まだ花まる学習会さんとの協議ができていませんので、こういう形でやりますという断定はできませんけれども、今、A委員さんから言われたような形で、来年度はその方もしくはそれにかわる方が今度、新しい学校のほうに入っていただく形になるのではないかとということで、協議を進めたいと考えています。

○A委員

ありがとうございました。

○委員長

C委員さん、どうぞ。

○C委員

関連ですけど、今、A委員さんの2点目のところは、今後、指導者をどうしていくかという問題になってくると思うんです。それで、前回、私は社会教育主事の設置という話をしたんですが、私は花まる学習会との授業の内容等を見てもみますと、社会教育的な教育の手法なんですね。そこと大体マッチングしているんじゃないかと思うんですが、そういうことを考えていきますときに、花まる学習会に頼ることなしに自前で武雄市でそういう職員を育てていく必要があると。そのような人材を教育委員会で1人か2人、私は育てていく必要がありはしないだろうか。学校教育でいいますと、指導主事という授業の指導をやっていく人がいるんですが、そういうことからすると、総務課に1人か2人、社会教育主事的な人を置いて、そして、そのような人を育て、その人たちが指導できるような体制をとっていかないと、花まる学習会ばかりに頼ってはいけないのではないかなということも常々思っておりまして、その辺のところも今後御検討いただければと思っているところでございます。

○委員長

今のC委員さんのは、一応考えておいてくださいという要望ですね。

○C委員

はい、今後ですね。必ずそこに私はぶつかってくると思うんです。

○委員長

花まる学習会さんからスタートして、あとは自前でということですよ。

○C委員

そうですね、はい。学校と地域が連帯化していくときに、花まる学習会から来た人たちというのは、外からの講師さんだと思うんですよ。結局、よそから来て、そのところで地域と連携できるような——連携していただくかも知れませんが、将来にわたって連携していくというものではないと。やっぱり講師さんですから。だから、本当に地に足のついた指導者が必要になってくるんじゃないかと思うんですね。

○委員長

これに対して何かスマイル学習課長さんは、こうしますという返答じゃなくてもよろしい

です。

○スマイル学習課長

C委員さんが言われていることにつきましては、前もそういうお話をいただいております。重々承知しております。少なくとも、花まる学習会さんとの官民一体というものの中といたしまして、花まる学習会の授業を取り入れてやるとかということよりも、教育の一つの手法とか理念とかというものを、これまでとまた違う方法を見つけながら、方向も見ながらやっていくということで、当然、最終的には全て先生方がこれは授業を行うことですので、花まるの先生方がやるものではなくて、通常の市内の先生方がやっていただくものです。最終的には委員さんが言われるようなしっかりとした指導者が必要になってくるとは考えておりますので、十分そのあたりは考えた形で今後進めていきたいと思っております。

○委員長

そしたら、このC委員さんからの提案は、今後検討をしていく課題としていただきたいと思います。

そしたら、A委員さん、どうぞ。

○A委員

ちょっと聞き漏らしておったかもわかりませんが、さいたま市で官民一体型学校の説明会で、参加者が200人ということで大変多かったということですが、今後、いつごろ、どこの地区で説明会をしていかれるという予定があったら教えてください。

○委員長

スマイル学習課長、どうぞ。

○スマイル学習課長

今後でございますけれども、現在確定をしているところでいいますと、今月末の30日になりますけれども、福岡市のほうにあります英進館、花まる学習会の授業を取り入れてやっておられる学習塾の御協力をいただきまして、30日に福岡で同じような説明会を開催する準備を今しているところでございます。どちらかという、うちの学校の説明も含めてですが、うちのお住もう課が1月に実施を進めております移住促進等の親子見学ツアーあたりの広報も含めたところで現在行う予定でございます。確定といえますか、今のところ予定としておりますのは、その福岡の時点まででございます。

○委員長

今の件で、A委員さんの発言に、何か委員さんからほかに同じようなことはございませんか。

○B委員

今後、また関東のほうで、例えば都内でこういった説明会をするという予定はあるんでしょうか。

○スマイル学習課長

関東ですか。

○B委員

はい。

○スマイル学習課長

今年度、要は来年度の2校の実施までについては、現在ちょっとまだ白紙です。ただ、また来年度以降、今のいわゆる準備校が実施校として、再来年度前には、またどこかタイミングを見つけて、市内、また九州内、また関東圏とかでの説明会が必要であるということは認識はしておりますので、計画をしていきたいと考えています。

○B委員

ありがとうございます。

○委員長

では、今の説明会についてはよろしいですか。

そしたら別に、B委員さん、どうぞ。

○B委員

先日、その2校が決まって、あとまた準備校があるという中で、武雄小学校ですとか、朝日小学校ですとか、大きい小学校が今回、準備不足ということで外れている状態なんですけれども、やはり大きい小さいにかかわらず、そういった花まる学習を取り入れた教育というのは、せっかく武雄市であれば今後広げていけたらいいなと非常に感じております。

では、どのような準備を今後していったら、そういう大きい学校でもできていけるのかという具体的な指示、指導というか、そういったものが花まる学習会のほうからいただけるのかどうかということをお尋ねしたいと思ったことと、あと、武雄市としても、先ほどC委員さんがおっしゃったように、やはり花まる学習会から人をこちらに移住させてまでということ、どんどん人数をふやすのは大変だと考えますので、やはりそういった点からも、大きい学校にも広めるためには、やはり武雄市でなくても、県内の中で有志の方がこういったことにかかわって進めていくと言っていたのであれば、非常にいい形になってくるのかなと感じました。

○委員長

古賀課長、どうぞ。

○スマイル学習課長

そういう意味では、来年度実施される2校の責任といいますか、非常に重要になってくると思っております。特に、大規模校とか、今回、手を挙げられなかった学校からも、やはりどのような感じになるのかというのが非常にわかりにくいというお声は確かにいただいております。そういう意味では、今度実施していただく2校については、学校の中で御迷惑のか

からない最低ラインの程度ではございますけれども、できるだけそういう授業のときには公開をしていただいて、特に、今後やろうかと考えていらっしゃる協議会、また保護者の皆様方にはそういうのをごらんいただける機会をとにかく多く持って、実際に武雄市でやっているのを見ていただくことが一番いいのではないかと、今、花まる学習会のほうとも考えております。

その上で、やはり先生方もできる限りそこで研修をしていただきまして、先ほどC委員から言われましたように、花まる学習会に頼ることなく自分らでできるような教育にさせていただければと思っておりますので、まずはこの実施校の2校にしっかりとやっていただいて、市内、また県内、市外からもしっかりと見ていただけるような場を提供したいと私どもは考えているところでございます。

OB委員

ありがとうございます。

○委員長

よろしいですか。

OB委員

1つなんですけれども、今、いろんな全国から来るお客様が宿に泊まりながらも、武雄市の教育とか、それからいろんなことについて非常に聞かれることが多い中で、やはりお住もう課の方がそういうふう具体的に動き出した中で、民間で仕事をしている身にとっては、せっかく武雄市が今後どんなふうに行おうとしているかということが具体的な、例えば、A4みたいなパンフレットにぎゅぎゅっと詰まって、お住もう課含めてそういうふうな受け入れをしているということがわかるようなものがあれば、民間単位でも、もっと武雄市の教育がこんなふうに向かっているというところをわかりやすく適切にお伝えできるのかなと考えていまして、そういったことの考えはございますでしょうか。

○教育長

そのチラシとは別に、もっと広くですよ。

OB委員

ええ、これはこれで非常に武雄市と花まる学習会がやるということがわかっているんですが、第三者の、例えば、移住も考えられるかもといった、すぐくまだ小さいお子さんを持っていらっしゃるって、武雄市に住んでみたいわとおっしゃる方もいらっしゃる中で、どういう窓口があるんですかとか言われるときに、そういえばという形で、そこになると大きな話になってしまうんですけれども。

○教育長

いやいや、官民一体型学校についてはあるわけですね。

OB委員

非常にいろんな質問をされていて、タブレットに興味のある方もいれば、いろんなですね。武雄市はすごいね、教育すごいねという中で、お住もう課の話なんかをすると、そんな課があるんだ、だったら、どんなふうにすればとかいろいろつながっていく——それが広く大きくなって……

○委員長

広くですね。

○B委員

はい、広く。

○委員長

部長。

○教育部長

確かに今大事なところですので、おっしゃるとおり、スマイル学習、あるいはそれ以外のプログラミング教育とか進めていますので、そういうことを網羅して、お住もう課とセットで、そういったチラシがあれば本当にいいなと今ちょっと感じていますので、今後、関係で協議して、できたらつくりたいと私は思いますけれども、ちょっと検討させてください。

○B委員

ありがとうございます。できたあかつきには、ぜひ旅館組合みんな置きたいと思います。よろしく願いいたします。

○委員長

ただいまB委員さんの市外の方々の生の声ということでして、本当に貴重な御意見だったと思います。どうぞ今から検討をいただきたいと思います。お願いいたします。

ほかに何かございませんでしょうか〔「なし」と声あり〕。

ないようでしたら、私からも済みません。官民一体型学校について、まず実施校が2校決定しましたが、そこまでにたいしまして、教育長、部長、課長、そのほか係の皆さん、本当にこれまで学校、保護者、地域に何回も出向いて説明、懇談会などを開いて、理解していただく御苦勞をしていただきました。本当にありがとうございました。お疲れさまでございました。また、このようにすばらしいパンフレットまでつくっていただきまして、本当にありがとうございました。

まず、来年度、27年度は2校決定して実施していくわけですが、これが武雄市の教育という大きな池に一滴の油が落とされたという形になります。だから、その油が水面をぱっと広がっていくように、これからもいろいろと御指導、御支援等をよろしく願いいたします。

そして、今後の課題としては、これをどのように継続していくかということがとても難しく、重要な課題じゃないかと思います。ですから、今、盛り上がっている地域の多くの方々の理解と支援が時間とともに、ややもすれば地域の役員さんや係など一部の人たちだけの負

担に先細りをしていかなないように、形骸化していかなないようにしなければならないというときに、とても今後が大変だなと思います。私たち全員で留意していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それから、これは完全に別のことですが、学校教育課長さん、ちょっと私、学校訪問をしながら、小学校、中学校の英語の授業を見たり、それから、テレビとかなんとかの情報から、来年度から小学校3年生、4年生の英語が始まっていくんですね。この英語教育をスムーズに進めていく、また効果的に進めていくために、英語教育の環境づくりというのが必要じゃないかなと思うときに、1年生、2年生の各学級に年齢に応じた英語の絵本なりDVD、それから歌のCDなどを備えてはどうだろうと思いますが、どうでしょうか。全て英語で、そして、日常のいろいろな時間を活用して、英語がわからなくてもいい、絵本を見せる、英語でしゃべっている動画を見せる、それから音楽を聞かせるとかいうようにして、1、2年生ではまず目や耳で語感やフィーリングを身につけさせておくというのも、本当にスムーズに流れていく、取り組める一つのきっかけじゃないかなと思います。そして、その内容や購入に対しては学校に任せて、購入する予算は市側としていただいて。

というのは、小学生が英検何級をとったとかいう情報を時々聞いて、そのときに、どうしてそのように英語ができるようになったんですかと親さんに聞いている場面がありまして、別に塾に行ったり教えたりしていないで、そういうものを与えているということでした。それで、ずっと身につけていったんでしょうね。今、コマーシャルの石川遼じゃないですけども、スピードラーニングというですかね、ああいうふうなものでも出てきていることから、そういうことが言えるのかなと思って、今ちょっと提案をしてみたところですが、せっかく英語教育をするなら、より効果的に思うときに、そういう取り組みもどうかと思ったりもいたしました。これは私一人で思ったことを提案しましたけれども。

C委員さん、どうぞ。

〇C委員

今の件ですけど、前、課長さんに学力調査のときの今後の検討をお願いしたことがあったんですが、そういうふうなものを含めて、やっぱり集中的に会議ができるような時間を持っていたいただければ、今、重要な提案がなされているような感じがいたしますので、その辺、御検討いただければと思いますけど。

〇委員長

学校教育課長さん、どうぞ。

〇学校教育課長

ありがとうございます。教育委員会の中で受けました提案につきましては、鋭意精選して、実践していただいているところでございます。

英語に関しましては、来年度からではないんですけども、もうすぐ始まりますので、そ

れへ向けて、東川登小学校で今年度試行的に全学年でALTを使った英語活動という形で、今、実践をしているところでございます。まだちょっと詳細が決まっておりませんので、12月に一度公開ができるような形にしたいということでございます。そのときには教育委員さんにも御案内をしたいと思っております。

そこでの実践と研究をもとにして、武雄市内の各学校に、こういうふうなことができるのではないかと提案をしていければなと思っているところでございます。

○委員長

それで、私が言うのは、先生方に負担のないように、授業のようにして取り扱うんじゃなくて、例えば、朝の読書の読み聞かせのときに童話のようなものを英語で書いたりしたのを読んでみせていただくとか、それから、ポパイじゃないですけども、ああいう漫画的な動画ですとか、それか、給食の待ち時間とか休み時間とかなんとかに易しい英語の音楽を校内にというか、教室に流すとか、そういう活用方法というのは自然と子どもが感覚を養ってくれるんじゃないかなと思ったりして、この前の武雄中学校の英語提案授業を見ながらも強くそういうふうなことを思いました。

それでは、ほかに何かその他でございましょうか〔「なし」と声あり〕。

ないようでしたら、まだまだ今から武雄市の教育というのが、学校ばかりじゃなくて一般市民への教育もこれとあわせていくわけでございます。今から始まったというような感じでございます。本当に教育長、部長、課長、そのほか理事さん、参事さんや係の方々に本当にお骨折りいただきますが、効果が徐々に出ていきますように御苦労いただくことをお願いして、これで11月の教育委員会を終わりたいと思います。ありがとうございました。

午前11時15分 閉会